

戦略評価シート

由利本荘市 商工会

令和元年度(3年目)

※戦略評価判定基準:戦略を構成する施策の評価結果に基づき、(A)(順調)、(B)(概ね順調)、(C)(一部未達成)の3段階で評価する。

戦略1 育て・挑戦を支える商工会		総合評価
施策1	課題解決のための個社支援による販路拡大支援の実施	(B)
施策2	創業しやすい環境整備と事業承継の推進	(A)
施策3	記帳継続指導の財務会計活用型への変革	(A)
施策4	関係機関との連携強化による課題解決力の向上	(B)

評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
	戦略1の根幹となる個社評価については、経営計画策定支援や解決提案・実行支援巡回、記帳継続指導の変革を通じて着実な成果を上げている。	補助金活用がマッチする案件を見極めて提案していく必要がある。成果が上がらなかった展示会等への補助金活用提案は、出展全般を通じてどのような支援がベストなのかを見定めることが重要である。	未達の事業については次年度大幅な見直しを図る。特にICT支援については、補助金活用や専門家派遣を通じて支援事例を蓄積しながら、ノウハウを共有化し取組を進めていく。

戦略2 プロ集団の商工会		総合評価
施策5	情報共有化による支援スキルの向上とチーム支援体制の整備	(B)

評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
	一部の職員には理解の低い者がいるものの、多くの職員は概ね趣旨を理解し、前向きに取り組んでいる。育成面談のために時間を割いてやること自体に意義もあることから、引き続き続けていくべき取組である。	理解の低い者、自分の考えを上手く表現できない者などに対しての意識向上・醸成を図る必要がある。また、チーム支援に対して今まで以上に参画しやすい体制を構築する必要がある。	職員の状態に応じて負担のならない程度に面談回数を増やすなど、職員に合わせ柔軟に対応する。また、成果・実績の上げやすい案件に対してチーム支援へ積極的に参画させ成功体験を得られるよう配慮する。

戦略3 事業者が主役の商工会		総合評価
施策6	役員が一体となった組織の運営	(A)
施策7	実効性の高い会員加入促進運動の実施	(B)

評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
	組織運営の見直しについては具体的な提案が増えていくに伴い、役員意識も高まってきている。会員加入促進については、一定の成果はあるものの、活動方法に対する引き続きの検討が必要である。	高まりつつある役員意識を会員加入促進につなげていけるかが課題である。積極的な活動までに至らなくても情報提供や声掛けなどができる仕組みを構築できれば大きな第一歩となる。	新たな組織体制を構築していく際に、企業情報を共有化できる仕組みを検討する。事業者間ネットワークをフルに活用することを念頭に置いた組織体制構築・運営を第一とした議論を展開していく。

戦略4 機動的・効率的な商工会		総合評価
施策8	受託業務・地域振興事業の見直し	(A)
施策9	支所統合を含む事務局体制のあり方検討	(A)

評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
	商工会を取り巻く環境と危機感を共有できる土壌が出来上がってきた。決定事項の無い結論を出さないことが前提での議論ではあるが、これからの商工会を考える機会を創出できたことは大きく評価できる。	受託業務・地域振興事業の受託替えやスクラップといった大きな改善までには、まだ時間が掛かる状況にある。事務局体制のあり方検討も含め、各地域に丁寧な説明を継続して重ねていくことが求められる。	事務局レベルの改善をこれまで以上に推し進めていく。この改善によってもたらされた効果を提示しながら、大きな改善の足掛かりとする。そのためにも、継続議論できる場を増やし、丁寧な説明を重ねていく。

戦略5 環境変化に強い商工会		総合評価
施策10	環境変化に備える中長期財政運営計画の策定	(A)

評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
	補助金削減、会員減少、会費及び手数料減少などの絞ったシミュレーションを個別に行ったことで深みのある議論が展開できた。財政全体を意識しつつ、目的を明確にしたシミュレーションは有効的な方法であった。	目まぐるしい変化に対応するため、目新しくなくとも有益なシミュレーションは継続して行った方が良い。そのためにも、大きな影響を与える補助金や手数料収入に対する情報収集を徹底して行わなければならない。	継続的にシミュレーションを実施するための情報収集を徹底して行う。また、新たな切り口(新たな手数料収入)についても検討していきながら、全体の収支バランスが保たれる方法を模索していく。